

道徳科学習指導案

平成29年6月21日

第6学年2組 計34名

指導者 青木 琢磨

1 主題名 「かけがえのない家族」 C「家族愛」

2 教材名 「ぼくの名前呼んで」 光村図書

3 主題設定の理由（授業者の指導観）

（1）ねらいとする道徳的価値について（価値観）

様々な人間関係において、信頼し合い、互いに認め合えることは大切なことである。人間関係の基盤を形成するのは、その大部分が家庭においてであると言える。

一方、普段から身近にいて、家族の大切さについて考えることは、なかなかないのであるだろうか。家族にしてもらったことに感謝することを忘れ、自分勝手な行動や言葉がけをしてしまうこともあるだろう。家族からの思いや願いに思いが至らず、反抗的な態度をとってしまうことも、この時期の児童の様子として度々見られる姿ではないだろうか。

この授業では、家族との絆に改めて気付いたり、自分が愛されていることを再認識させたりする時間にしていきたい。そして自分もまた、大切な家族を思い、行動することで、よりよい家族のあり方に近付こうとする心情を育てていきたい。

（2）児童の実態（児童観）

今回、児童が「家族」に対してどのような意識があるのかをアンケートで調べた。

「あなたが家族にしてもらってうれしかったことは何ですか」という問いに対して、回答の48%が「〇〇を買ってもらった」「〇〇につれていってもらった」などであった。

今回のアンケートを通じて、「家族」について、より深く見つめる機会がまずは必要であると感じた。

一方で、家族の気遣いや存在自体に感謝する児童もいた。第5学年および第6学年の道徳の家族愛に関する内容は、「父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。」である。

今回の授業を通じて、家族との関わりについてじっくりと振り返らせたい。そして、家族との深い絆に気づき、自分なりに家族のあり方を考える場として設定し、家族のために進んで役立つこと」の素地を養っていきたい。

(3) 教材について (教材観)

この教材は、主人公の太郎と、聴覚障害者と言語障害者でありながらも懸命に生きていこうとする両親の家族の様子が描かれている。

学校で友達と喧嘩をした時に、両親から名前を呼んでももらえないことをからかわれて傷ついた太郎は、家に帰って切ない思いを両親にぶつける。しかし、父親から、涙とともに熱く手話で語られた、太郎に対する思いを知り、たとえ名前が呼んでももらえないとしても、両親に愛されていることに気付き、父の言葉が深く心に響いた、という話である。

太郎の父親の姿を通して、親が子供に対してもっている深い愛情に気付かせ、家族に対しての自分の気持ちについて考えさせるようにしたい。また、子供たちの家庭環境が様々なことを念頭に置いて、十分配慮しながら授業を進めるようにしたい。

4 「ぼくの名前よんで」教材分析表

	場面の概要	太郎の内面	発問
①	障害者である両親に反抗したことは、なかったが、一度だけ忘れられないできごとがあった。		
②	脳性麻痺の友達をからかった自分より大きな者と喧嘩になり、相手を組み伏せ馬なりになった。	・障害のある友達をからかうなんて許せない。	
③	「とうちゃんかあちゃんから一度も名前を呼ばれたことないだろう。これからもずっと呼ばれないぞ。」と言われ、体が動かなくなった。 相手に突き飛ばされ、半ば放心状態で「名前…。」と、力なくつぶやいた。	・そんなこと考えたこともなかった。 ・そういえば自分は名前を呼ばれたことがないんだ。 ・ショックだ。	
④	突然立ち上がり、校門目がけて駆け出した。涙がこみ上げた。 商店街で、大声で叫びたい衝動をこらえ、ひたすら走った。	・あんなことを言われてくやしい。 ・名前を呼ばれたことがなくてさびしい。・名前を呼ばれたいけどどうにもならないことだ。・他の人と違うことを認めたくない。	涙がこみ上げてきたときの太郎はどんな気持ちだったでしょう。
⑤	「ひろこ、ごはんよ。」と名前を呼ぶ声が聞こえ、堰を切ったように涙がこぼれた。耳をふさいで家へ走った。	・当たり前のように名前を呼んでもらえる子がうらやましい。 ・名前を呼ぶ声なんか聞きたくない。・悲しさに我慢できない。	
⑥	大きな音をたてて玄関の戸を開け、廊下を踏みしめ、父親のいる部屋の入り口で足を踏み鳴らした。	・自分の気持ちをわかってほしい。	
⑦	机に向かっていた父親が床を伝わる振動で後ろを振り向き、太郎を見た。		
⑧	父親にむしゃぶりついて叫んだ。 父親から離れ、泣きながら手話を始めた。	・やっと気づいたのか。 ・僕の思いをわかってほしい。 ・さみしい。	
⑨	運動会で転んだときの思いを手話で伝えていた途中で手を一瞬止めた。	・何で僕だけ、こんな思いをしなくちゃいけないんだ。・でも、そんな自分の思いを言ってもいいのだろうか。	
⑩	「一度でいいから名前を呼んで…。名前を呼べないなら僕なんか生まれなければよかったんだ。」と思いをぶつけ、声を上げて泣いた。	・こんな家に生まれてこなければよかった。・名前を呼んでもらえない僕なんか生まれてこなければよかった。	父親に泣き叫びながら手話をしているときの太郎はどんな気持ちだったでしょう。
⑪	父親は力いっぱい抱きしめた。そして、静かに離すと無言の中にも力強い息遣いを感じさせる手話で語り始めた。 はじめて父親の涙をみた。	・母さんや父さんこそ、つらかったんだ。・お母さんお父さんの生き方は素敵だ。・名前を呼ばれなくても僕は愛されている。	父の涙ながらの手話を見た太郎はどんな気持ちになったでしょう。

<p>父の心の底からほとぼしるような手話を瞬きもせず見つめていた。</p>	<p>るんだ。・大切に育てられたんだ。・この家に生まれてきてよかった。・家族のためにも立派な生き方をしていこう。 ・家族を大切にしていこう。</p>	
---------------------------------------	--	--

5 研究主題にせまるための手立て

<目指していく具体的な児童の姿>

- ・今の自分について考え、自分らしさとして認められる児童
- ・友達の考えを、共感をもって聞ける児童

(1) 事前アンケートの活用の工夫

- ・事前に児童からアンケートをとり、家族について、どんな捉えをしているのかをつかんでおく。また、本時の導入にも活用し、本教材に登場する太郎の気持ちと関連して考えられるようにした。

(2) 教材提示の工夫

- ・モニターに教材を提示し、文章と挿絵、BGMで資料にのめりこませる。また、父親の手話のところを教師がはじめだけ手話で表現することにより、臨場感をもたせるようにした。

(3) 終末の工夫

- ・展開の前段が終了した後、教師の説話を行うことで、自分の家族について考えを深められるようにした。
- ・家族に関する動画を見せることで、家族の深い愛情について考えさせ、自分の家族からの愛情について考え、家族のよさを感じさせるようにした。

(4) 自分の考えを深める工夫

- ・自分について考える活動として、ワークシートに記入する活動を入れた。じっくりと自分に向き合って考えを書くことで、普段は気付かない思いを掘り起こし、改めて家族について考える機会になるようにした。また、自分と安心して向き合えるように発表はさせないことを伝える。

6 本時の指導

(1) 本時のねらい

父親の心の底からの手話と涙で語られる自分への深い愛情に気付いた太郎の心情を考えることを通して、家族のよさや家族が深い絆で結ばれていることに気づき、それらを大切にしようとする心情を育てる。

(2) 学習指導過程

	学習活動 主な発問 (○) 予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 (●) 評価 (☆) <u>主題に迫るための手立て (数字)</u>
導入	1 家族に関するアンケートの結果を聞く。	●コの字型座席 <u>アンケートを活用し、「家族」に対する意識を振り返らせる。(1)</u>
展開	2 「ぼくの名前呼んで」を視聴し、話し合う。 ○涙がこみ上げてきたときの太郎の気持ちはどうだったでしょう。 ・くやしい。 ・さびしい。 ・たしかに言ってもらったことがない。 ・言い返したいけど、言い返せない。 ○父親に向かって泣き叫びながら手話をしているときの太郎はどんな気持ちだったでしょう。 ・なんでもうちだけ。 ・こんな家に生まれてこなければ。 ・ぼくなんか生まれてこなければ。 ・呼べないのはわかっているけど、それでも呼んでもらいたい。 ◎父の涙ながらの手話を見た太郎はどんな気持ちになったでしょう。 ・ありがとう。 ・自分も愛されている、大切にされていた。 ・この家に生まれてきてよかった。 ・名前くらい呼ばれなくていい。	●主題名を提示する。 ●登場人物を紹介し、太郎に注目して視聴するよう指示する。 ●臨場感ある教材提示に努める。 <u>教材の文を映像で提示し教師が読み聞かせする。(2)</u> ●泣いてしまった時と混合しないように、どこの場面かをおさえてから発問する。 ●グループで考えを互いに伝え合った後で全体で話し合う。 ☆家族の深い愛情に気づいた太郎の気持ちを考えている。(発言・観察)

終末	<p>3 自分を振り返る。 ○教師の説話を聞く。</p> <p>○今日の学習を通して、あなた自身の家族について考えたことや思ったことを書きましょう。</p> <p>○家族についての動画を見る。</p>	<p><u>自分の家族の愛情について考えられるようにするため、教師の説話をしてから、自分を振り返させる。(3)</u></p> <p>☆自分の家族のよさや家族が深い絆で結ばれていることを考えている(ワークシート)</p> <p><u>ワークシートに記入することで、自分の考えを深めさせる。(3)</u></p> <p><u>自分と安心して向き合えるように発表はさせないことを伝える。(4)</u></p> <p><u>家族の大切さを感じられる動画を流す(3)</u></p> <p>●児童の家庭環境に配慮した動画資料を用意する。</p>
----	--	--